

高原学校の中止について

1年生には通知でお知らせしましたが、今年から榛名になった高原学校（旧林間学校）を中止とさせていただきます。従来5月から2回延期し、状況を見ておりましたが、決定時点での県の警戒度と事前指導時間の在り方等を考慮した文字通り苦渋の決断でありました。生徒にも保護者の皆様にも様々な思いがあるのではないかと思います。従来1年生は、林間学校を通じて、集団生活の在り方、協力することの大切さ、できなかったことができるようになる達成感を体得してきました。林間学校から帰った1年生は、一回り大きく見えたものです。高原（林間）学校で学ぶはずだった能力を身に付けられるよう代替の活動についてはまた検討してまいります。

今後の行事につきましても、関係機関と協議しながら、お子さんの健康と活動の意義を十分に考慮し、決定していきます。

P T A資源回収

8月22日（土）朝、例年行われているP T Aの資源回収を行いました。今年度は生徒のボランティアは募集せず、文字通りP T Aで行いました。東門から北門へドライブスルー形式で行いました。当日は、本部役員・地区役員の皆様、暑い中ご協力ありがとうございました。収益につきましては、学校の教育活動支援費等につかわせていただきます。



資源回収の様子

第二中学校の学校での様子・各種通信・通知等は本校webページに適宜掲載しております。ご活用ください。

危機（リスク・クライシス）管理能力を高めよう

先日の避難訓練で生徒に話したことです。

- ・危機管理には、予想される危機に対して事前に備えるリスクマネジメントと起こってしまった（想定外の）危機に対応するクライシスマネジメントがある。
- ・3. 11の東日本大震災では、釜石の子どもは、ほとんど被害に遭わなかった。これは、日頃から津波を想定した避難訓練を日常重ねてきた（リスクマネジメントの）結果である。
- ・今私たちは、新型コロナウイルスという想定外の危機に対して対応（クライシスマネジメント）していかなければならない。
- ・いずれもベースになっているのは、生徒が自ら危機を察知し、周囲の意見にとらわれずに自分で命を守ろうとしているかどうかだ。

九州を襲った台風10号や昨年の台風19号のような台風が今後発生することは想定内のことです。また、新型コロナウイルス感染予防は、数少ない今までのデータをもとに極力リスクを減らす努力をしていかなければなりません。二中でも危機管理マニュアルを先進校の実践をもとに今年度大幅に更新しました。ここ数年で大地震・津波・原子力発電所事故・ミサイル・台風・新型ウイルスと大きなことがたくさん起こっています。また、交通事故・不審者・運動中の怪我など日常的な危機は、周囲にたくさんあります。危機管理能力は、今最も身に付けなければならない力の一つだと考えています。学校でも日常的にこの力を身に付ける取組を進めていきます。

合唱コンクールに向けて

二中の秋は合唱一筋、合唱コンクールに向けて各クラス練習をスタートさせました。スタートに際しては、全日本合唱連盟の「合唱活動における新型コロナウイルス感染症拡大防止のガイドライン」を遵守した形で行っております。また、合唱コンクールの実施方法については、今後、教育委員会やカルピスホールなど関係機関と協議し、9月中旬に結果がでる全日本合唱連盟の飛沫実験の結果や今後の市内外の感染状況を重視して検討していきます。



各学年の練習の様子

